



IETFにおける品質測定に関わる議論の状況

株式会社 **インテック**
先端技術研究所
研究開発部

2013年11月25日
Copyright © INTEC Inc.



- インターネットの国際標準化団体(IETF)では、IPPM WGにおいてインターネット品質パラメータ(遅延,速度等)が定義されてきました。

IPPM: IP Performance Metrics

- 昨年夏から大規模インターネット品質測定に関わる議論がIETF LMAP WGで開始されました。

LMAP: Large-Scale Measurement of Broadband Performance

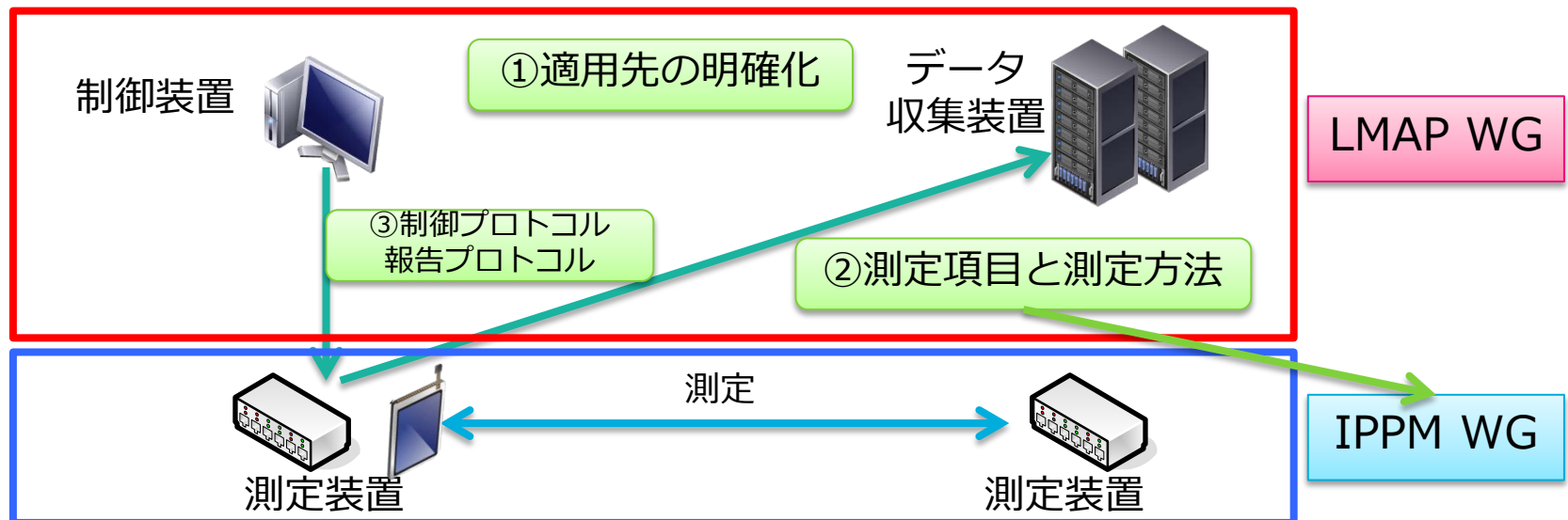
年月	IETF	内容
2012年 9月		FCCがLMAPのアーキテクチャと要望事項の提案
2012年11月	IETF85	FCCが大規模インターネット計測の紹介
2013年 3月	IETF86	第0回目 LMAP BOF開催
2013年 7月	IETF87	第1回目 LMAP WG開催
2013年11月	IETF88	第2回目 LMAP WG開催

- LMAP WG

1. 適用先を明確にする (誰が何を目的に計測するか)
国/調査機関, 通信事業者, エンドユーザ
2. 測定項目と測定方法を明確にする (何をどう計測するか)
例) 遅延、ロス、実効速度
3. 制御プロトコルと報告プロトコルを定義する

- IPPM WG

- 品質パラメータの定義



LMAPのマイルストーン

	2013年		2014年				2015年
	7-9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
適用先	検討		RFC化	▲ RFC			
フレームワーク	検討		RFC化	▲ RFC			
情報モデル		検討			RFC化	▲ RFC	
制御プロトコル 報告プロトコル			検討			RFC化	▲ RFC

- IETFで策定される国際標準では、測定項目や測定条件等について具体的な要件が規定される可能性がある。
- 下記の理由から、国内で実効速度等の測定基準を検討するに当たっては、IETFで策定される国際標準との整合性を考慮することが必要と考えられる。
 - アメリカ等がIETF標準の策定に関与しており、今後アメリカ以外の国においても同標準が採用される可能性があること
 - 国際機関における国別の実効速度等の比較においても同標準が利用される可能性があること